

6/19蔵王マウンテンファーム

そうだ！  
田舎にくらそう  
2016.

元川西町地域おこし協力隊の6年後のお話。  
宿舎・備後文庫跡跡地にて、3期目 飯豊町  
イラストモデル：チヤコ（元・小宮愛）



6/19あ～す(飯豊町)

## 都会とは違う、あきらかにアツい夏！！

こんにちは。とうとう夏がやってきました。苦手です！暑いのは。何と言いますか、体温調整がうまくいかないの、一度、熱くなってしまうと、そのあと体がずっと熱い！

そんな、暑さにめっぽう弱くせに、灼熱のギターを弾いてきました。

6/19..午前は蔵王の牧場で、午後は飯豊町の「あ～す」で。休みがあれば、その日はギター弾いてるという。完全に田舎暮らしを間違えています。蔵王はホントに暑かった。見ていた子供は大丈夫なんでしょうか？わたしや、汗がメガネにたまって、手元が見えませんよ。でも、良い経験です。

このように、せっかく自然豊かな田舎に来て、相変わらずインドな趣味を持つ僕は「アツい！！」のが苦手なわけです。昔から不思議でならないのは、スポーツでも受験でも、ここの一番の重要なイベントは、何で梅雨とか、真夏とか真冬に行くのか？ということです。春とか秋にすればいいじゃん。という、気合とか精神とか根性とかいうわけですが、「巨人の星」や「おしん」が誕生した文化の中では美德とするものが、世界的にも独特な気がします。その昔、サッカーのヘディングは頭に悪いということで、ヘッドギアをつけるというのがアメリカであったような。現在はそのような選手はいないので、僕の勘違いかもしれないですが、まあ、合理的というか、訳がわかるというか。

都会と田舎は何が違うのか？というテーマは5年以上、僕の暮らしに付いてまわるものですが、そのひとつは「アツい」ということ。もうひとつはチームプレイということでしょうか。

かつて、知り合いのモンテディオ山形の大ファンの人が言った名言は「J1にいくまで付いていく！」なんですが、そもそも、J1に行くのが目標じゃなくて、J1優勝して日本一、アジアカップで優勝してアジアNO.1、なのに、、、それは望んでいないらしく、多くの人が応援する、つまり、山形のモンテディオは応援するけど、日本を代表するモンテディオは興味がないらしいです。まあ、わからなくはないです。売れないバンドの追っかけをしている人は、メジャーデビューすると去っていくみたいなのか？

基本的に何かに打ち込みたい！っていう感情は誰にでもありますよね。趣味がないから、酒を飲みまくる、パチンコをする、時間を浪費する、仕事まくる、遊びまくる、寝まくる、食べまくる、まくるまくる世界。

一見、悪い事に聞こえますが、実は社会勉強としては悪くはない。良い経験です。何でも「まくる」ことが出来たら大したものです。たいいてい人は、そんなに多くのことにアツくなれないのです。

田舎暮らしで何かにアツくなる！それは、その人の素質かもしれませんね。僕はギターにアツいのか？もはや、そんな感覚も通り越してしまいました。しかし、毎年、色んなイベントに呼ばれるし、気に入って聴いてくれる人がいるので、誰も感じた事がない新鮮な感覚を提供していきたいものです。7/31(日)は伝国の杜でコンサートがあります。

## 知らないと損をする！？

よく言われることですが、知らなきゃよかった！といのもあるでしょう。バッドマンの「ダークナイト」という映画知ってますか？個人的にはバッドマン映画が一番おもしろいです。ジョーカーという誰がどう見ても根っからの悪人がいて、その悪人をこらしめるのが正義だとしてバッドマンが戦うのです。が、しかし、ジョーカーには彼なりの正義があり、「いったい正義とは？」何なんだと考えるストーリー。いかにもヒーロー映画ばかりのアメリカっぽい作品ですが、立場が違えば「善は悪の裏返し」でしょうか。

「善」といえば、西田幾多郎「善の研究」を思い出します。学生の頃、読んだんです。「良いこと」って何？と思って。でも、内容は哲学書なんで、バイトで役立つ情報はありませんでした。何で読んだかといえば、バイトしていたヨーカ堂で、マネージャーは早く帰りたいからと、バイトに仕事押し付けられ、堂々と不倫してるし、たばこ吸いたいからとレジやらされたり、接客長いと休憩いけないから怒られたり。ほんとムカつくことばかりなんです、一つ確信したのは、こんなアホでも生きていけるんだな、ということです(笑)20歳くらいのことなんで、良い経験ではあります。

何でも良い経験と片付けてますが、立場が違えば「善は悪の裏返し」というのは、まさに、そんな事にあります。親切丁寧に接客して、お客様にご満足いただければと、社訓だか朝礼で言われていたから、ちゃんと説明してスーツケース売っていたのに、腹が減ったとか、タバコ吸いたいとか理由で、レジを離れられないからイライラして怒られるんですからね。立場が違えばそんなものです。

不条理かどうか？実はそんなことは、どーでもよかったです。それよりも、接客した人が、スーツケースを買ってくれたこと、若造が説明したからか？何だかんだで満足してくれて、靴も買ってくれたこと。接客と言えども熱意というか、そういうものは伝わるんだってこと、自分もやれば出来るじゃん。そういうことを知れたわけです。マネージャーからしたら、接客は早めに切り上げて買ってくれそうな人だけ相手にするのが「善」かもしれませんが、自分はそうではないので、裏返しというか、人によって「善」基準が違うってことでしょう。

だから、僕は善悪の判断は自分で決めています。人に任せるとロクな事ない。というか、後悔する。君はこうしたほうがいい、あーしたほうがいいというのは、お節介りかも。あくまでも、その人の生き方に関する部分ですけど。

知らなきゃよかったというのは、あんまりないですね。真実なら知ってるほうがいいですな。前回は書きましたが、何かに陶酔している人というのは、その人しか知らない世界を知っていて面白い。もはや善悪とかつかれないレベルです。そうですねーわかりやすいうなら、ジメンはギターが上手いか？ビートルズは偉大か？ギターはおもしろいか？おっと、すでに自分が泥酔レベルでした！話をまとめると、善を知るためには、ジョーカーもマネージャーも世の中には必要だという事でした。